



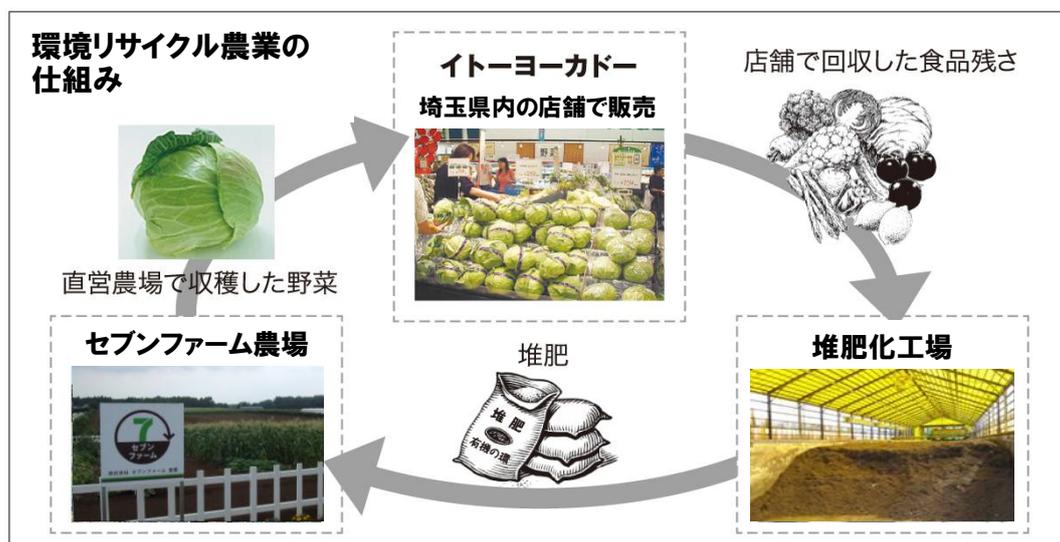
JA等と共同で農業法人『セブンファーム深谷』を設立 埼玉県内で環境リサイクル農業を開始

株式会社イトーヨーカ堂（東京都千代田区、代表取締役社長〈COO〉：亀井 淳、以下「当社」）はこのたび、農業生産法人『セブンファーム深谷』（埼玉県深谷市）を設立し、イトーヨーカドー店舗から排出される食品ごみ（残さ）を堆肥の資源とする“環境リサイクル農業”を、千葉、茨城、神奈川に次いで全国4ヶ所目となる埼玉県内にて開始いたします。

『セブンファーム深谷』は、当社の農業事業における中核会社「株式会社セブンファーム」（当社100%出資）と、「ふかや農業協同組合」（埼玉県深谷市、代表理事組合長：根岸 芳弘、以下「JA ふかや」）、JA ふかや組合員（農業生産者）の3者による共同出資で設立した農業生産法人です。上記組合員が所有する約1.5%の耕作地で露地野菜を中心に栽培し、JA ふかやによる物流インフラの提供や営農指導をいただきながら収穫した野菜のほぼ全量を、埼玉県内のイトーヨーカドー店舗に出荷して販売いたします。

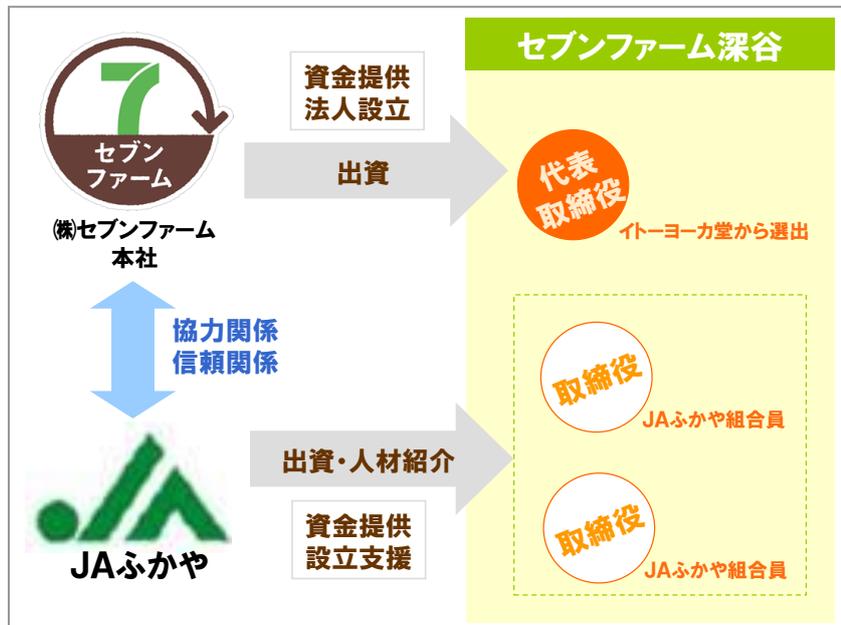
当社は2008年8月、企業の社会的責任（CSR）活動の一環として、食品リサイクルの向上と地域農業の活性化を目的に、セブン&アイグループ初の農業生産法人「セブンファーム富里」（千葉県富里市）を設立し、“環境リサイクル農業”を大手小売業で初めて構築いたしました。その後、農場面積や栽培品目、収穫量等を拡大し、2009年度（1～12月）に事業の黒字化を達成したことで、2013年2月末までに全国10ヶ所への拡大を計画。本年9月に茨城県筑西市で「セブンファームつくば」を、本年10月には神奈川県横須賀市で「セブンファーム三浦」を設立し、今般の『セブンファーム深谷』は全国4ヶ所目、農業生産法人としては「セブンファーム富里」に続く2法人目の取組みとなります。

農業従事者の高齢化や耕作放棄地の増加等、日本の農業を取り巻く環境は大きな転換期を迎えております。『セブンファーム深谷』は“日本の農業をお手伝いしたい”という基本理念のもと、埼玉県内のイトーヨーカドー店舗から回収した食品残さをリサイクル資源とする“環境リサイクル農業”を通じて、持続可能な地域農業への貢献を図ります。



1. 「セブンファーム深谷」の概要

商号 : 株式会社セブンファーム深谷 ※農業生産法人
 所在地 : 埼玉県深谷市人見 841 番地 2
 設立日 : 2010年10月26日(火)
 代表者 : 代表取締役 恵本 芳尚 (えもと よしのぶ)
 (兼 株式会社イトーヨーカ堂青果部シニアマーチャンダイザー)
 出資構成 : 株式会社セブンファーム 25%
 ふかや農業協同組合 25%
 JA ふかや組合員 (2名) 50%



2. 深谷市での取り組みについて

農場名称 : セブンファーム深谷
 所在地 : 埼玉県深谷市人見 841 番地 2
 農地面積 : 約 1.5 ヘクタール (約 15,000 m²、当初)
 生産者 : JA ふかや組合員 2名
 栽培品目 : キャベツ、ブロッコリー、長ねぎ等の露地野菜
 収穫量 : 約 90 トン (初年度 1 年間)
 販売店舗 : 埼玉県内のイトーヨーカドー 4 店舗 (アリオ深谷店、久喜店等) から発売し順次、県内の全 24 店舗へ拡大予定

3. 堆肥化について

埼玉県内 9 店舗 (アリオ深谷店、久喜店等) から食品残さを回収し、埼玉県大里郡の堆肥化施設にてリサイクル

4. 生産スケジュール

2010年 9月頃 ~ きゃべつ、ブロッコリーの作付け開始
 2010年 12月頃 ~ 長ねぎ、ブロッコリーの収穫、販売開始
 2011年 1月頃 ~ きゃべつの収穫、販売開始

以 上